

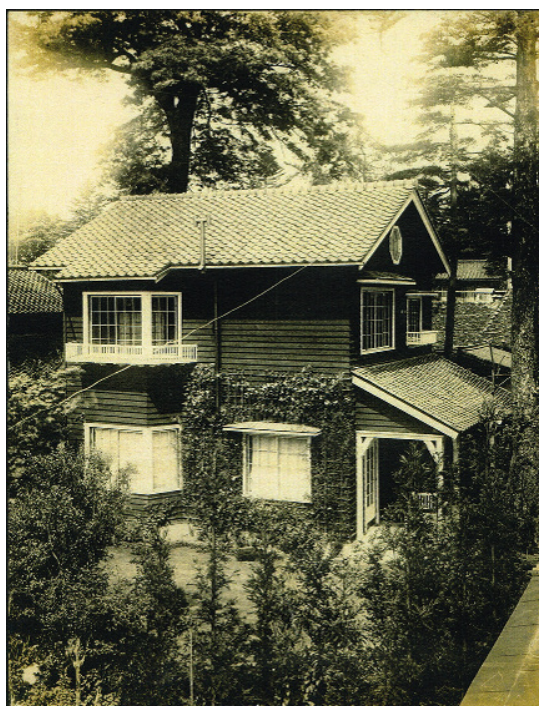


吉田鉄郎 没後 70 年展

2026 年 —
9 月 17 日（木） — 10 月 9 日（金）
11:00 ~ 20:00 （入場無料）

KITTE丸の内 4 階 旧東京中央郵便局長室

福野が生んだモダニズム建築の原点 吉田鉄郎の建築とその継承



山田家住宅洋館



JPタワー／KITTE丸の内



東京中央郵便局

わが国には古来、清らかさという特殊な美の観念があり
もっとも合理的な、もっとも経済的な、かつ、清らかな建築は
きわめて日本的である。



吉田鉄郎 (1894-1956)

富山県砺波郡福野町生まれ。100を超える公共建築や住宅を手がけた通信省の建築家であり、幼少期に慣れ親しんだ砺波平野の散居村の風景を原点に建築と自然・地域環境の調和を追求した。その作品は「近代化した日本において真に日本的なものを表現した最初の現代建築」と高く評価され、日本の伝統とモダニズムを融合させた建築思想は今日も多くの人々を魅了している。

吉田が設計した建物で現存するものは少なく再開発事業等により姿を変えたものもある。東京中央郵便局はその代表であり、純白の壁面と黒色の窓枠、日本の伝統建築を感じさせる柱と梁の架構が構成するデザインである。一方で、福野町の山田家住宅洋館は黒い下見板張りの大壁と白く塗られた太い柱周りの窓が印象的な和洋折衷住宅である。山田家住宅洋館の完成は東京中央郵便局完成の2年前であり、吉田はあたかも「対」の建物のように、この二つの建物の設計を進めていたのではないだろうか。

展示パネルと補足説明はこちら



主催：吉田鉄郎没後70年企画準備委員会

共催：日本建築学会北陸支部／住宅遺産トラスト／DOCOMOMO Japan／日本大学校門建築会
日本郵政建築／NTTファシリティーズ

後援：富山県／富山県教育委員会／南砺市／日本大学理工学部建築学科／石川工業高等専門学校
日本郵便／日本郵政不動産／NTTアーバンソリューションズ／NTT都市開発／富山県建築士会
日刊建設通信新聞社、北日本新聞社、富山県人社

公開期間 2026/09/17 - 2027/1/29